



せっぺ 翔べ



日吉学園HP ★新日吉学園ブログ

人権週間によせて

日吉学園 校長 松尾 明

12月4日(水)から10日(火)までの1週間は、「人権週間」です。

1948年12月10日に国際連合総会が「世界人権宣言」を採択し、この日を記念して「人権デー」を定めました。日本では、昭和24年に法務省がこの日を最終日とする1週間を「人権週間」としました。

日吉学園では、12月2日(月)～6日(金)の間を「校内人権週間」とし、子供たちが人権について考え、理解を深めて行動できるように、人権に関する講話・授業、人権標語の作成などを通じた「人権教育」を行います。

ところで、なぜ、子供たちに「人権教育」が必要なのでしょう。

平成14年に閣議決定された「人権教育・啓発に関する基本計画(平成23年変更)」に、次のような「人権課題」が列記されています。

女性、子供(いじめ、不登校、児童虐待)、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者・ハンセン病患者等、刑期を終えて出所した人、犯罪被害者等、インターネットによる人権侵害、北朝鮮当局による拉致問題等

科学技術の進んだ現在の日本の社会において、今、なお、差別を受けて苦しんでいる人たちがいます。

また、2016年から2年間かけて、国立教育政策研究所が4000人の小中学生に「いじめの追跡調査」を行いました。「あなたは、仲間はずれ、無視、陰口などのいじめをした経験がありますか、また、された経験がありますか」という質問に対して、8割の小中学生が「された経験がある」、7割が「した経験がある」と回答しています。

つまり、様々な人権課題がある中で、子供たちがいつ差別する側、される側になるかわからない、だから人権教育が必要なのです。

では、なぜ差別や偏見が起こってしまうのでしょうか。

東洋大学の北村英也教授によれば、人には「自分が有利になりたい」という心理があり、特に自己肯定感が低い人が、違うタイプの人をけなして、自分の方が上だと思ふことで、相対的に自己肯定感を補うというパターンがあるのだそうです。このような心理が、差別や偏見の背景にありそうです。

では、差別や偏見を減らしていくために何ができるのでしょうか。

それは、「人を差別してしまうという自分の弱さ」を受け入れた上で「学習」を通して人権についての理解を深め、「体験」を通して人権感覚を高めることなのだそうです。

「学習を通して人権についての理解を深める」とは、例えば、ハンセン病について正しい知識と理解をもつ、ということです。無知が差別や偏見を生みます。

また、「体験を通して人権感覚を高める」ために、学校・家庭・地域の中で、自分や他の人の大切さが認められていることを子供たちが実感できるような状況を生み出すことが肝要なのだそうです。そういった意味で、学校行事、家族との時間、地域行事を通じた「体験」が大切になってくるのではないかと思います。

「人権教育は全ての教育の基本」とよく言われます。子供たちが、将来に渡り、差別をしてしまう弱い心に打ち勝ち、差別から自分を守ることができるよう、人権に対する子供たちの理解を深め、人権感覚を高めていきましょう。そのためにも、教職員を含め、私たち大人が、勉強したり体験したりして「人権意識」を高めていかないといけないのかもしれないかもしれません…。

実りの秋でした！！❀入賞おめでとうございます❀

日置市小学校陸上記録会

【100M走】 5年 (5位) 冨ヶ原 陸 6年 (4位) 赤崎虎太郎 (1位)古里 紫乃
 【走り幅跳び】 5年 (5位) 田村 柊翔
 【走り高跳び】 5年 (7位) 小松 翔愛 6年 (6位) 古市 結暖
 【800M】 5年 (7位) 清水蔵乃介 (8位)小室敷美結 6年 (5位) 外宮 愛望
 【60Mハードル】 6年 (2位) 赤崎虎太郎
 【400Mリレー】 5年男子(6位) 古里 琉来 有馬秀虎 田村 柊翔 冨ヶ原 陸
 5年女子(3位) 内匠屋凜花 上門 結愛 小松 翔愛 小室敷美結
 6年男子(6位) 赤崎 虎太郎 田中 藍翔 西島一希 横内 志陽
 6年女子(4位) 塩津杏優菜 古市 結暖 外宮 愛望 古里 紫乃

県理科作品コンクール

【入選】 7年 廣川 心音

税に関する作品コンクール

(絵はがきの部) 【税務署長賞】 6年 古市 結暖
 【優秀賞】 6年 森田 花夏
 【優秀賞】 6年 塩津 杏優菜
 (習字の部) 【優秀賞】 9年 満富 愛香

日置市児童生徒読書感想文コンクール

【入選】 1年 津波 蘭乃介 2年 松尾 香澄
 3年 小島 悦椰 5年 吉村 明芽
 【特選】 4年 加古 紬 6年 松原 小夏
 7年 宮下 一花 8年 小松 友結
 9年 重留 凜

生徒会役員引継ぎ式

11月8日(水)、生徒会役員の引継ぎ式が行われ、いよいよ新生徒会が動き始めました。

今までの生徒会をリードし、様々なことに取り組んでくれた前期生徒会の思いや願いをしっかりと受け継ぎ、新しい風を吹かせ、よりよい日吉学園をつくり上げて下さい。

生徒会長	8年 鳥越 千代莉
副会長	8年 川窪 波音 8年 富迫 恋杏
書記会計	7年 野元 芽依
学習部	8年 下瀬 弥生 7年 田村 遙彪
生活部	8年 清水 唯乃 7年 鮫島 未羽
保体部	8年 井尻 翔優 7年 有馬 虎鉄
環境部	8年 前田 結衣 7年 田島 美波海

登校時の自動車の乗り入れについて(お願い)

12月1日より全国交通事故0月間の運動も展開されます。本校でも登校時の安全確保には十分配慮しておりますが、最近、登校の際の送迎のために、学校の正面付近での降車に、武道館下の駐車スペースまで車を乗り入れる行為が問題となっています。

本校の周辺の道路は大変狭く、児童生徒が登校する時間帯に学校近くまで乗り入れることは大変危険です。再度確認しますが、児童生徒の学校へのお送りは以前お願いした通り、登校の際は、日吉支所での乗降にご協力をお願いします。

“ほんもの”に触れる ～市町村による青少年劇場～

11月20日(木)に、前期課程生を対象とした演劇の鑑賞会が、本校体育館で開催されました。

「劇団群馬中芸」という劇団のみなさんが、宮沢賢治童話の文章を舞台化した作品「イーハトーヴォものがたり(ざしきぼっこのはなし・やまなし・どんぐりと山猫)」を演じてくださいました。

子供たちは照明や舞台の演出、そして何より、俳優の皆さんの演技の迫力に、すっかり物語の世界へ引き込まれていきました。

子供たちの感想からも、作品のおもしろさを味わい、楽しむことができた様子が伝わってきました。

この機会をとおして、読書など、さまざまな文学作品に触れたいと感じていることと思います。



12月の主な行事予定

2	月	校内人権週間(～6日)
3	火	全校朝会(人権について) SC 来校
4	水	【前】学期末 B 校時 【後】9年進路学習(Web 出願指導)
5	木	【前】5年お茶とのふれあい事業
6	金	【前】委員会活動(4年6校時なし) 【後】人権同和学習
10	火	【前】学期末 B 校時 5年深固院団子づくり①
11	水	【前】5年深固院団子づくり② 【後】9年進路学習(面接指導)
12	木	【前】4年高齢者疑似体験 【後】9年 Web 出願保護者対応
13	金	【前】学期末 B 校時 クラブ活動(3年見学) 【後】学級学校専門委員会
14	土	【後】校内持久走大会(授業参観)・ 7・8年学級 PTA 9年進路学習
24	火	終業式 大掃除 学活 吹奏楽部・クリスマスコンサート(体育館)
25	水	冬休み(～1月7日まで)
27	金	仕事納め